

【I】 次の表は、1876年、1914年の列強の植民地領有についてまとめたものです。下記の問い（問1～7）に答えなさい。

	本 国		植 民 地				合 計	
	1914		1876		1914		1914	
	面積	人口	面積	人口	面積	人口	面積	人口
イギリス	0.3	46.5	22.5	251.9	33.5	393.5	33.8	440.0
フランス	0.5	39.6	0.9	6.0	10.6	55.5	11.1	95.1
ロシア	5.4	136.2	17.0	15.9	17.4	33.2	22.8	169.4
ドイツ	0.5	64.9	—	—	2.9	12.3	3.4	77.2
イタリア	0.3	35.2	—	—	1.5	1.4	1.8	36.6
ベルギー	0.03	7.5	—	—	2.4	15.0	2.4	22.5
アメリカ	9.4	97.0	—	—	0.3	9.7	9.7	106.7
日本	0.4	53.0	—	—	0.3	19.2	0.7	72.2

（単位：100万km<sup>2</sup>，100万人）

（木谷勤『帝国主義と世界の一体化』より）

問1 表から読み取った内容について誤っているものを、次の選択肢ア～キの中から三つ選びなさい。

- ア 1876年、1914年ともに植民地の面積は、イギリス、フランス、ロシアが圧倒的に多い。
- イ 1914年のアメリカと日本の植民地の面積・人口は、どちらも同じ数値である。
- ウ 1914年の本国と植民地の合計の人口数で、最も多いのはイギリスで、最も少ないのはベルギーである。
- エ 1876年から1914年の植民地面積の増加1位は、イギリスである。
- オ 1914年において、本国の人口より植民地の人口が多いのは、イギリス、ベルギーである。
- カ 1914年において、ドイツと日本の本国と植民地の合計面積と人口は、ほぼ同数値といえる。
- キ 1876年に植民地を有していなかった国のなかで1914年に面積を最も有したのはドイツである。

問2 イギリスの本国・植民地の合計面積・人口は、どちらも第1位です。この背景には、18世紀後半から19世紀初頭にかけてイギリスが最初に様々な分野で技術革新を達成したことがあります。この革新を説明する用語を漢字4文字で答えなさい。

問3 この革新により、イギリスは世界市場を圧倒し、19世紀半ばには「イギリスのもとの平和」と呼ばれる国際秩序を成立させました。このことをラテン語で、パクス＝～～と呼びます。その呼称を答えなさい。

問4 この時期の技術革新の一つに電信網の発達があります。①1830年代の電信の発明者と、②電信網を整備した通信社名の組み合わせとして正しいものを、次の選択肢ア～エの中から一つ選びなさい。

ア ①モールス ②ロイター通信

イ ①モールス ②タス通信

ウ ①リンカーン ②ロイター通信

エ ①リンカーン ②タス通信

問5 1876年に日本で起きた出来事として誤っているものを、次の選択肢ア～エの中から一つ選びなさい。

ア 金禄公債証書発行条例が制定された。

イ 国会開設建白書が提出された。

ウ 地租改正反対一揆が和歌山県で発生した。

エ 廃刀令がだされた。

問6 1914年に世界で起きた出来事として誤っているものを、次の選択肢ア～エの中から一つ選びなさい。

ア オーストリア皇太子が、サラエボで暗殺された。

イ パナマ運河が開通した。

ウ 日本で原敬が政友会総裁に就任した。

エ 中国は、日本の対華21か条要求を受諾した。

問7 列強は、軍事力を背景に植民地を獲得していきました。こうした帝国主義は、アメリカやアジアに大きな変化をあたえました。幸徳秋水は、1901年に『廿世紀之怪物 帝国主義』を著しています。次に掲げたその一部分を読んで、幸徳秋水が、帝国主義の何を批判しているか説明しなさい。

吾人は世界の平和を欲す、而して帝国主義は之を攪乱する也。吾人は道德の興隆を欲す、而して帝国主義は之を残害する也。吾人は自由と平等を欲す、而して帝国主義は之を破滅する也。吾人は生産分配の公平を欲す、而して帝国主義は之が不公を激成する也。

【Ⅱ】 次の資料 1 に関して述べた下記の問い（問 1～5）について答えなさい。

資料 1 「鋤鋤捨てて」1917 年（筑摩書房「近代漫画Ⅴ 大正前期の漫画」より）

著作権の関係により風刺画は非公開

問 1 第一次世界大戦により、日本の輸出は大幅に拡大し、「大戦景気」と呼ばれる好景気となりました。資料 1 は、そのことにより生じた人びとの移動を描いた風刺画です。どこから、どこへ人びとは移動しているのでしょうか、説明しなさい。

問2 資料1に描かれた人びとの移動先での生活に関して述べた内容について、正しいものを、次の選択肢ア～ウの中から一つ選びなさい。

- ア 大戦景気に乗じて「成金」と呼ばれる富裕者となった。
- イ 文化住宅に住み、文明的な生活をおこなった。
- ウ 悪い環境の安価な住居が集まるスラムで生活し、結核などの伝染病にかかる者もいた。

問3 資料1で描かれた人びとの移動先での労働環境やそれに対する対応に関して述べた内容について、誤っているものを、次の選択肢ア～エの中から一つ選びなさい。

- ア 賃金が安く、引き上げを求めてストライキを行った。
- イ 帰宅後は賭博をしたり、寄席にて遊んだり、日給を浪費してしまう者が多かった。
- ウ 午前9時に出勤して、午後5時に退勤するような勤務時間であった。
- エ 労働者の権利を求める組織として労働組合などを結成した。

問4 資料1が描かれた時期に政府は農村で起きている問題を懸念し対策を講じました。当時の農村の状況や政府の対策について述べた内容について、誤っているものを、次の選択肢ア～エの中から一つ選びなさい。

- ア 内務省は、役人や有力者が中心となって講習会などを行っている農村を模範村として表彰し、全国へ広めた。
- イ 1900年前後には農家の約4割が小作地となり、地主は耕作をおこなわず、高額の小作料と作物の販売益を得る寄生地主制が広がった。
- ウ 小作人は、小作料の低下を求めて、小作争議を起こすようになった。
- エ 農家の女性はとくに働かず、家庭を守ることに専念していた。

問5 この頃、吉野作造は、主権を天皇におく一方で、民衆の利益や幸福の実現こそ政治の役割であるとした主張を唱えました。その主張を漢字4文字で答えなさい。

【Ⅲ】 次の2つの文章は、『高等学校学習指導要領解説地理歴史編』の「歴史総合」に関する「解説」のうちから「C」と「D」の一部を引用したものです。下記の1～15の問いに答えなさい。

C 国際秩序の変化や大衆化と私たち (3) 経済危機と第二次世界大戦

この中項目では、日本とその他の国や地域の動向とを比較したり、相互に関連付けたりするなどして、<sup>(1)</sup>各国の世界恐慌への対応の特徴、<sup>(2)</sup>国際協調体制の動揺の要因などを考察したり表現したりして、国際協調体制の動揺を理解できるようにすること、また、第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、<sup>(3)</sup>日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを考察したり表現したりして、<sup>(4)</sup>第二次世界大戦後の国際秩序と<sup>(5)</sup>日本の国際社会への復帰を理解できるようにすることをねらいとしている。

問1 下線部(1)に関連して、世界恐慌の原因や影響、各国の対応について述べた文として正しいものを、次の選択肢ア～エのうちから一つ選びなさい。

ア 1929年にアメリカのニューヨーク証券取引所で株価が急騰したことによりはげしいインフレが進むと、その経済混乱は世界に拡大した。

イ イギリスは1931年に金本位制を停止するとともに、翌1932年にオタワ英連邦会議を開いて、イギリス連邦内の関税を下げ、連邦外の国々に対して高関税を課す経済政策を進めた。

ウ ドイツでは、1932年の選挙でナチスが第一党となれなかったため、翌1933年にヒトラーはミュンヘン一揆をおこして議会を解散し、一党独裁体制を確立した。

エ 世界恐慌によって不況におちいり、工業生産が大幅に落ち込んだソ連では、スターリンによる独裁体制が強化された。

問2 下線部(1)に関連して、アメリカ合衆国における世界恐慌への対応について述べた文として正しいものを、次の選択肢ア～エのうちから一つ選びなさい。

ア 国家が積極的に経済に介入して景気を調整する政策がとられた。

イ 第一次世界大戦の終結直後から採用されていた一連のニューディール政策を廃止した。

ウ イギリスやフランスによるブロック経済政策を批判し、カナダやラテンアメリカ諸国などとの経済的結束で形成されていたアメリカ・ブロックを解消した。

エ 民主党のセオドア・ローズヴェルト大統領が、恐慌打開策を推進した。

問3 下線部(2)に関連して、1930年代における国際協調体制の動揺について述べた文として正しいものを、次の選択肢ア～エのうちから一つ選びなさい。

ア ソ連についてドイツも国際連盟から脱退すると、両者は協調するようになり、独ソ不可侵条約を締結した。

イ スペイン内戦では、ドイツとイタリアがフランコ反乱軍側を支援したのに対し、イギリスとフランスは人民戦線政府側を支援した。

ウ 中国で第二次国共合作が成立して抗日民族統一戦線が形成されたことに反発した日本は、国際連盟からの脱退を通告し、満洲国の建国を宣言した。

エ イタリアは、エチオピア侵攻に対して経済制裁を課せられたことに反発し、国際連盟から脱退した。

問4 下線部(3)に関連して、日本政府に指令・勧告を発して占領政策を担っていたGHQ(連合軍最高司令官総司令部)の最高司令官は誰でしたか。次の選択肢ア～エのうちから一つ選びなさい。

ア フランクリン・ローズヴェルト

イ トルーマン

ウ マッカーサー

エ アイゼンハウアー

問5 下線部(3)に関連して、アメリカを中心としたGHQの日本に対する占領政策は、当初は非軍事化と民主化を徹底する方針でしたが、それよりも日本の経済的自立と独立を急ぐ方針に変わりました。アメリカはなぜ日本に対する占領政策を転換させたのか、「国際情勢との関係」をふまえて説明しなさい。

問6 下線部(4)に関連して、第二次世界大戦後の1949年、アメリカ、カナダ、西ヨーロッパ諸国などの西側12か国は、ソ連を中心とした東側陣営の勢力拡大に対抗するための集団安全保障機構を結成しました。この機構の名称を答えなさい(漢字でもアルファベットの略称でも可)。

問7 下線部(4)に関連して、第二次世界大戦後の国際秩序に関する次のA～Cの出来事が、年代の古いものから順に正しく配列されているものを、次の選択肢ア～カのうちから一つ選びなさい。

- A アメリカがヨーロッパ経済復興計画マーシャル・プランを発表した。
- B ソ連と東ヨーロッパ諸国がワルシャワ条約機構を結成した。
- C ドイツが東西に分かれて独立した。

- ア A→B→C                      イ A→C→B                      ウ B→A→C
- エ B→C→A                      オ C→A→B                      カ C→B→A

問8 下線部(5)に関連して、1951年にサンフランシスコ講和会議が開かれ、平和条約が締結されたことによって日本は主権を回復しました。この講和会議に招かれずに参加していなかった国を、次の選択肢ア～エのうちから一つ選びなさい。

- ア イギリス                      イ オランダ                      ウ フランス                      エ 中華人民共和国

D グローバル化と私たち (2) 冷戦と世界経済

この中項目では、日本とその他の国や地域の動向とを比較したり、相互に関連付けたりするなどして、<sup>(6)</sup>地域紛争と冷戦の関係、<sup>(7)</sup>第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米や<sup>(8)</sup>ソヴィエト連邦の政策転換の要因などを考察したり表現したりして、国際政治の変容を理解できるようにすること、冷戦下の世界経済や<sup>(9)</sup>地域連携の特徴、経済成長による<sup>(10)</sup>生活や社会の変化などを考察したり表現したりして、世界経済の拡大と<sup>(11)</sup>経済成長下の日本の社会を理解できるようにすることをねらいとしている。

問9 下線部(6)に関連して、冷戦の対立軸による地域紛争として最もあてはまらない事例を、次の選択肢ア～エのうちから一つ選びなさい。

- ア 1948年のイスラエル建国にアラブ諸国は反発し、両者間で戦争が始まった。
- イ 国共内戦をへて、1949年に中華人民共和国が建国された。
- ウ 1954年のジュネーブ休戦協定でインドシナ戦争は終結し、北緯17度線が南北ベトナムの暫定的軍事境界線として設定された。
- エ 1962年にキューバ危機がおきたが、核戦争の危機は回避された。

問 10 下線部(7)に関連して、1955年に29か国の代表が参加して開催されたバンドン会議では、「平和十原則」が採択され、「第三世界」の立場からの主張がなされました。この会議が開催されたバンドンは、どこの国にある都市ですか。また、この会議を主催したその国の当時の大統領はだれですか。国名は次の選択肢ア～オのうちから、人名は次の選択肢カ～コのうちから、それぞれ一つずつ選びなさい。

国名	ア インド	イ インドネシア	ウ エジプト
	エ マレーシア	オ ユーゴスラヴィア	
人名	カ スカルノ	キ ティトー	ク ナセル
	ケ ネルー	コ ホー・チ・ミン	

問 11 下線部(7)に関連して、「第三世界の国々」とはどのような国々ですか。「第三」の意味がわかるように説明しなさい。なお、具体的な国名については、説明に含める必要はありません。

問 12 下線部(8)に関連して、ソ連がかかわった次のA～Cの出来事が、年代の古いものから順に正しく配列されているものを、次の選択肢ア～カのうちから一つ選びなさい。

- A 「プラハの春」とよばれたチェコスロヴァキアにおける民主化の動きがおこると、ソ連のブレジネフ書記長はワルシャワ条約機構軍を投入してこれを鎮圧した。
- B チェルノブイリ原子力発電所事故がおき、グラスノスチ（情報公開）を強く押し進めた。
- C フルシチョフ第一書記がソ連共産党大会で「スターリン批判」演説を行い、西側諸国との平和共存路線を打ち出した。

ア	A→B→C	イ	A→C→B	ウ	B→A→C
エ	B→C→A	オ	C→A→B	カ	C→B→A

問 13 下線部(9)に関連して、1960年に中東のイラン・イラク・サウジアラビア・クウェートと、南米のベネズエラの5か国によって産油国の協力組織が設立されました。この組織の名称を答えなさい（漢字でもアルファベットの略称でも可）。

問 14 下線部(10)に関連して、世界の生活や社会の変化について述べた文として誤りを含むものを、次の選択肢ア～エのうちから一つ選びなさい。

- ア 西ヨーロッパ諸国は、アメリカのドルを基軸通貨とする変動相場制のブレトン・ウッズ体制のもとで、1960年代に高い経済成長を達成した。
- イ アメリカでは、キング牧師らによって黒人差別の撤廃をめざす公民権運動が広がり、1964年に公民権法が成立した。
- ウ アフリカでは、1960年を中心に多くの国々が独立したが、独立後も植民地時代に形成されたモノカルチャー経済（単一の農産物や資源に依存する経済）の構造が残った。
- エ 中国では、1960年代後半から、毛沢東が復権をかけて紅衛兵を動員して文化大革命を進めたことにより、社会は大混乱におちいった。

問 15 下線部(11)に関連して、1970年代の日本の政治・経済・社会について述べている文を、次の選択肢ア～エのうちから一つ選びなさい。

- ア 朝鮮戦争が始まると、戦争による特需で日本経済は好景気となった。
- イ 自由党と民主党が合併して自由民主党（自民党）が結成され、野党第一党の社会党と対抗する体制が始まった。
- ウ 池田勇人首相が所得倍増計画をかかげ、高度経済成長を実現した。
- エ 石油危機がおこると、経済危機を克服するために省エネルギー化が進められた。